

週報 第3350回

会 長 川端 徹 副会長 中 透・南出 和成
幹 事 山本 博章 SAA 道正田 均

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2026年9月10日) 第3350回

■ プログラム

和泉RC・和泉南RC・泉大津RC
3クラブ合同例会・懇親会

■ 次週のプログラム

9月11日 : 3クラブ合同例会に振替休会

■ 今後の予定

9月18日 : 卓話担当 西田 佳郎 会員

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ
おわれて見たのは いつの日か
夕焼小焼の 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

■ 先週の例会

会長の時間



川端 徹 会長

泉大津ロータリークラブ細則

第3条 理事および役員の選挙に関して

第1節 指名委員会を開催致します。

1. 会長は次々年度会長候補者を指名するため、毎年9月度例会において、指名委員会の委員を発表しなければならない。

2. 指名委員会は直前5期の会長経験者、会長、幹事の7名をもって構成され、うち会長経験者1名が委員長となる。ただし議決権は会長経験者が有するものとする。

すなわち、会長、幹事は意見を述べることができるが、議決権はなく、オブザーバーとして委員会に参加でき

るものとする。

本日、指名委員会を設置し、植村指名委員長より指名委員の発表と、一言、ご挨拶を述べていただきます。
指名委員長、よろしくお願いします。

『指名委員長の植村です。

委員は、直前5期の会長経験者の南出会員・渡辺会員・杉本会員(ただし転籍した元上田会員を除く)とオブザーバーに川端会長・山本幹事を合わせた6名をもって構成、選考致します。

又、会長ノミニーの発表は12月の総会時に発表致します。』

会長ノミニー指名委員会に続いて、少しお話をさせていただきます。

皆様、先日の日曜日のNHK大河ドラマ『豊臣兄弟』をご覧くださいになりましたでしょうか。

織田信長亡き後、家臣の羽柴秀吉と柴田勝家が天下の覇権をかけて戦った「賤ヶ岳の戦い」。敗れた柴田勝家は居城・北ノ庄城へ敗走します。秀吉・秀長軍は城へ攻め込もうとしますが、そこには勝家の妻であり、信長の妹でもある「お市」、そして三人の娘・茶々、初江がいました。そのため、まず娘たちは城外へ逃がされますが、お市は勝家の説得にも応じず、夫と運命をともにする道を選びます。

(お市は、前夫・浅井長政が滅んだ際には三人の娘とともに兄・信長のもとへ戻りましたが、今回は最後まで勝家とともに城に残りました。)

ドラマでは、勝家とお市が夫婦として静かな時間を過ごした後、城内へ攻め込んだ秀吉軍を迎え撃ちます。二人はしっかりと手をつなぎ、お互いを守るように戦いながら天守最上階まで追い詰められます。そして歴史では城内で自害したと伝えられる二人が時代考証は別にして、このドラマでは最後まで手をつないだまま欄干から身を投じます。

勝家は「よお見ておれ、これが戦じや!」と言い放ち、お市は「頼もしいのう、皆よい顔をしておる」と家臣たちを見つめ、ほほえみます。史実との違いはあるかもしれませんが、私はこの場面ですっかり引き込まれ、大変感動しました。

実は、この「手をつないで」という場面から一つご報告

があります。

10月からFMいずみおおつで始まるオリジナル番組のタイトルを「手に手つないで ～泉大津から広がる輪～」と決定いたしました。

個々のコアメンバー4人の同志で番組をスタートさせ、地域で活躍される方々をゲストにお迎えしながら、健康・福祉・教育・防災・文化・スポーツなど、地域に役立つ情報を発信してまいります。人と人をつなぎ、地域の輪を広げる番組に育てていきたいと思っています。ロータリーの公共イメージの向上と会員増強につながります。

皆様の(少し厳しめで)温かい応援を、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

山本 博章 幹事

○来週9月10日(木)は3クラブ合同例会・懇親会がごございます。例会は午後6時30分からで、懇親会は午後7時からとなっております。

又、その翌日9月11日(金)は振替休会となっておりますので、お間違えの無いようよろしくお願い致します。

○本日メールボックスに、熊本地震に伴う井戸掘削・ボーリング支援協力者の情報提供のお願いを入れさせていただいております。2720地区延岡ガバナリーより、熊本地震により被災した地域への復旧支援について支援協力のご連絡です。熊本地震に伴う井戸掘削・ボーリング業者の情報がございましたら、幹事又は事務局までご連絡お願い致します。

○2640地区の地区大会記念ゴルフ大会のご案内をメールボックスに入れさせていただいておりますので、ご確認下さいますようお願い致します。

○本日例会終了後、くすのきの間にて第4回理事役員会がございますので、関係者の方はご出席下さいますようお願い致します。

○9月16日(水)は事務局がお休みになっておりますのでご承知下さい。

委員会報告

ロータリーの友9月号の読みどころの紹介。
(中田 広宣 会報・IT委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数39名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
9/ 4	32名	7名	—	82.05%
8/21	32名	7名	1名	84.62%

■ メークアップ

榎本(8/18 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・武内様、本日も例会ご参加ありがとうございます。お大事にして下さい。西端様、卓話宜しく願います(川端)
- ・武内さん、ようこそ!! 西端親睦活動委員長、卓話よろしく願います(山本)
- ・西端さん、卓話よろしく願います(道正田)
- ・皆勤賞 有難うございました(中)
- ・納涼例会後、国際奉仕委員会で使って頂いてありがとうございました(森田)
- ・欠席のおわびです(寺田)
- ・納涼例会欠席のお詫びです(根尾)

ニコニコ箱合計	23,000円
累計	136,000円

先週のプログラム



卓話担当 西端 政博 会員

2640地区に出向して見たロータリー ～地区組織を知れば、ロータリーはもっと面白くなる～

こんにちは。
本日卓話担当します西端です。今日は昨年出向させて頂きました地区について少しお話が出来ればと思います。

1. 地区に出向する前の私

まず、皆さんに聞いてみたいと思います。
「2640地区って、何をしているところですか？」こう聞かれたら、皆さんはどう答えられるでしょうか。もちろん、

ん、皆さんなら、「ガバナーがいる」、「地区大会がある」、「ガバナー公式訪問がある」、「地区協議会がある」という感じだと思います。私もそう思っていました。更に言いますと、地区に出向する前の私は、「地区って、ちょっと遠いところだな」という感覚がありました。自分が所属しているのは泉大津ロータリークラブで、毎週例会があって、クラブの事業があって、親睦があって、会員同士の付き合いがある。それが私にとってのロータリーでした。
地区というのは、その上にある組織。地区大会や研修会などの時に関係するところ。
そんなイメージだったと思います。
ところが、昨年度、地区幹事として実際に地区の中に入ってみると、その見え方が大きく変わりました。「地区って、こんなにたくさんの人が関わって動いているんだ」、「いろいろなクラブが、それぞれ違うことをやっているんだ」、「そして、その一つ一つのクラブを支えるために、地区という組織があるんだ」ということが、だんだん分かってきました。今日は、その経験を少し皆さんにお伝えしたいと思います。

2. そもそも2640地区って何なのか

まず基本的なところからいきたいと思います。

私たちは「泉大津ロータリークラブ」という一つのクラブで活動しています。

しかし、ロータリーは泉大津だけで動いているわけではなく、国際ロータリーという大きな組織があり、その中に世界各地の地区があり、その地区の中にそれぞれのロータリークラブがあり、私たちの泉大津ロータリークラブは、第2640地区に所属しています。

2640地区には大阪府南部と和歌山県のロータリークラブが所属しています。

泉大津ロータリークラブという一つのクラブを外側から見ていくと、「泉大津RC」から、「第7分区」そして、「第2640地区」さらに、「国際ロータリー」へとつながっているわけです。

と言う事で「**地区はクラブの上にあるだけの組織ではない**」ということです。

3. 地区には誰がいるのか

では、地区は誰が動かしているのでしょうか。

一番上にいるのがガバナーです。ガバナーは、2640地区全体を代表し、その年度の地区運営を担います。昨年は和泉南RCの北野ガバナーで今年度は高野街道の岡本ガバナーで、そのガバナーを支えるのが、ガバナー補佐でここ数年は和泉RCの久保さんです。

一方、代表幹事は地区幹事、地区副幹事を代表し、各会議体の運営などを行います。その下に各委員会の委員長や委員の皆さんがいて、それぞれの役割を担っています。さらに、その先には各クラブがあります。言葉にすると簡単ですが、実際には一年間、ものすごく多くの人が動いています。

会議があり、研修があり、地区行事があり、各クラブとの連絡があり、委員会活動があります。

そして、それぞれに担当する人がいます。私自身も、地区幹事として一年間活動させていただきました。地区幹事という仕事を一言で言うなら、「**ガバナーを支え、地区全体がスムーズに動くようにする仕事**」だと思います。ただ、実際にやってみると、これがなかなか大変です。

4. 地区幹事を経験して分かったこと

地区幹事を経験して、私が特に感じたことがあります。

それは、「**ロータリーは、人が動かしている**」ということです。

当たり前のことのように聞こえるかもしれませんが、一年間地区の中にいると、このことを本当に強く感じます。

地区の行事も、会議も、研修も、クラブへの支援も、すべて誰かが準備しています。

資料を作る人がいる。会場を準備する人がいる。参加者を集める人がいる。クラブと連絡を取る人がいる。委員会をまとめる人がいる。そして、誰かが「やりましょう」と声を上げて、それにまた誰かが協力する。

結局、ロータリーは人と人とのつながりで動いているんです。

これは、地区だけではありません。私たち泉大津ロータリークラブも同じです。例会ができるのも、誰かが準備してくれているからです。

事業ができるのも、誰かが企画して、誰かが動いてくれているからです。

親睦会ができるのも、誰かが段取りしてくれているからです。

普段は当たり前のように感じていますが、実は当たり前ではない。誰かが動いているから、クラブが動いている。このことを、地区に出て改めて感じました。

5. 地区委員会は何のためにあるのか

そして、地区に出向して初めて、その存在の意味がよく分かったものがあります。

それが地区委員会です。皆さんも、地区の委員会という名前を聞くことがあると思います。

会員増強、公共イメージ、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年、ロータリー財団、米山など、さまざまな委員会があります。でも、皆さんは地区委員会をどんなイメージで見ているのでしょうか。

「地区の仕事をするところ」、「地区からクラブに何かを伝えるところ」、というイメージがあるかもしれません。しかし、実際に地区の中に入ってみると、私は少し違うと感じました。

地区委員会は、**クラブを支えるための組織**なんです。クラブが一から全部考えるのではなく、地区にいる経験者や専門的な知識を持った人たちが情報を持ち寄って、「こういう方法がありますよ」、「こういう事例がありますよ」、「こういう研修がありますよ」とクラブに提

供する。

つまり、地区はクラブを動かすためにあるのではなく、**クラブがより活動しやすくなるために存在している**。私は、これが地区の大きな役割の一つだと思っています。

6. 他のクラブを見て分かったこと

そして、地区に出向して良かったことの**一つが、他のクラブを見ることができたこと**です。

普段、私たちは泉大津ロータリークラブの中で活動しています。だから、どうしても泉大津のことしか見えません。

でも、地区に出ると、いろいろなクラブがあります。会員数が多いクラブもあれば、少ないクラブもあり昨年3人で周年をやるというクラブもありました。長い歴史を持つクラブもありますが昨年新設された紀伊RCがそうです。他に若い会員が多いクラブもあります。逆に、会員の高齢化に悩んでいるクラブもあります。

このように各クラブ事情が違います。

でも、いろいろなクラブを見ていると、「なるほど、このクラブはこういうやり方をしているのか」と、非常に勉強になります。

そして、面白いことに、「これは泉大津でもできるんじゃないか」と思うことが結構あります。逆に、「これは泉大津ではやらない方がいいな」と思うこともあります。

つまり、他のクラブを見るということは、**自分のクラブを客観的に見る**ことなんです。これは地区に出向しなければ、なかなか得られない経験だと思います。

7. 会員増強について感じたこと

そして、地区に関わって、私が特に考えるようになったのが、**会員増強**です。

ロータリーのどのクラブでも、会員増強は大きなテーマだと思います。「どうしたら会員が増えるのか？」これは簡単な問題ではありません。

しかし、いろいろなクラブを見ていると、会員増強が比較的うまくいっているクラブには、ある共通点があるように感じます。それは、**クラブそのものに活気がある**ことです。

新しいことをやっている。会員同士が楽しそうにしている。例会に参加したくなる雰囲気がある。若い人も参加しやすい。そして、会員が自分たちのクラブに誇りを

持っている。

そういうクラブは、外から見ても魅力があります。

逆に、「会員を増やさなければならない」ということだけを言っている、なかなか人は入ってきません。私は、**会員増強**というのは、入会をお願いすることだけではないと思っています。

まず、「このクラブに入りたい」と思ってもらえる**クラブをつくる**こと。これが大事なのではないでしょうか。

そして、それは誰か一人の仕事ではありません。会員増強委員長だけの仕事でもありません。クラブ全体の仕事です。

一人ひとりが、「泉大津ロータリーって、いいクラブですよ」と言えること。

それが一番の会員増強なのではないかと思います。

8. 地区に出向するということ

ここで、今日ぜひ皆さんにお伝えしたいことがあります。それは、「**皆さんも、機会があれば地区に出てください**」ということです。

私は、地区に出向する前には、「地区に行ったら忙しくなるだろうな」とは思っていました。実際、忙しかったです。でも、それ以上に得るものがありました。

人との出会いがあります。他のクラブを知ることができます。自分のクラブを外から見ることができます。そして、ロータリーというものを、少し広い視点から見ることができます。

地区に出向すると、「泉大津ロータリーの一員」とであると同時に、「2640地区のロータリアン」でもあるということを実感します。さらにその先には、「世界のロータリー」があります。

そう考えると、ロータリーというものが、今までよりずっと大きく感じられます。

9. 出向は「クラブを離れること」ではない

私は、地区に出向することを、「自分のクラブを離れて活動すること」だとは思っていません。

むしろ逆です。**自分のクラブをもっと好きになるために、地区へ出る**。

私はそう感じました。外から泉大津を見ることで、「泉大津にはこんな良さがあるんだ」と分かる。他のクラブを見ることで、「泉大津にも、これを取り入れてみよう」と思う。他のロータリアンと話すことで、「自分たちも、も

う少し頑張ってみよう」と思える。

つまり、**地区に出ることが、クラブに戻ってくることにつながる。**

これが、私が一年間地区に出て、一番大きく感じたことの一つです。

10. 泉大津ロータリークラブにとっての「地区」

では、最後にもう一度、泉大津ロータリークラブに戻って考えてみたいと思います。

私たちは普段、「泉大津ロータリークラブ」という単位で活動しています。でも、私たちの隣には、第7分区の他のクラブがあります。そして、その先には2640地区があります。その先には国際ロータリーがあります。

つまり、**私たちのクラブは、決して孤立しているわけではありません。**

たくさんのクラブとつながっていますし、たくさんのロータリアンとつながっています。

そして、困ったときには相談できる人がいる。何か新しいことをしたいと思ったときには、参考にできるクラブがある。何かを学びたいと思ったら、地区の研修や委員会があります。

そう考えると、**地区というのは、私たちにとって非常に大きな財産だ**と思います。

11. 私が一年間で一番感じたこと

私が地区幹事として一年間活動して、一番強く感じたこと。

それは、**ロータリーは「組織」ではなく、「人のつながり」なんだ**ということです。

組織図を見ると、ガバナーがいて、ガバナー補佐がいて、地区幹事がいて、委員会があつて、クラブがあります。でも、実際にその組織を動かしているのは、一人ひとりのロータリアンです。

そして、その人たちは皆、「少しでもロータリーを良くしたい」「自分のクラブを良くしたい」「地域のために何かしたい」という思いを持って活動しています。

だからこそ、ロータリーは続いてきたのだと思います。

12. 最後に

最後に、皆さんに一つだけお願いがあります。

もしこれから、「地区に出てみませんか？」と声をかけられることがあったら、ぜひ一度、考えてみてください。

「忙しいから」「自分には無理だから」「地区のことはよく分からないから」そう思うかもしれません。私も最初はそうでした。でも、実際に出てみると、そこには今まで知らなかったロータリーがあります。新しい人との出会いがあります。新しい考え方があります。そして、自分自身が成長する機会があります。

何より、**泉大津ロータリークラブを、外から見ることができるようになります。**私は、地区に出向したことで、「泉大津ロータリークラブの一員であること」を以前より強く意識するようになりました。

そして、「**自分たちのクラブの外にも、こんなにたくさんの仲間がいるんだ**」ということ、皆さんに知っていただきたい。そのことです。クラブがあつて、分区があつて、地区がある。そのすべてをつないでいるのは、**人です。**まさに来週行われる3クラブ合同例会がそのチャンスだと思います。

そして、その積み重ねがロータリーを次の世代につないでいく。

私は一年間、地区に出向して、そのことを実感しました。

これからも、泉大津ロータリークラブの一員として、皆さんもぜひ、「**一度、地区に出てみよう**」と思っていただければと思います。そして地区に出たときには、ぜひ、「泉大津ロータリーから来ました」と胸を張って言っていただきたいと思います。

本日はご清聴ありがとうございました。